



## 平成30年度館蔵資料展「まつどの江戸時代 -古文書・絵画・模型からさぐる」開催について

### 1 概要

松戸市立博物館では、毎年館蔵資料を紹介する展覧会を開催しています。今年度の館蔵資料展は、松戸市の旧家から寄贈された江戸時代の古文書を中心に、絵画・木像などを多彩な歴史資料を出品します。

### 2 展示のポイント

現在の松戸市域には、江戸時代には50を超える村や町があり、多くの歴史資料が旧家で守られ残されてきました。この展覧会では、村の古文書、御鹿狩<sup>おししがり</sup>の絵画、村の道や耕地を描いた絵図、浮世絵版画やかわら版などの印刷物、資料を元に再現された模型、石造物の拓本などから、まつどの江戸時代を探ります。

### 3 展示構成（展示資料42点）

#### （1）古文書を「みる」

松戸市内の旧家に残された古文書を展示します。

#### （2）絵図のなかのまつど

御鹿狩を描いた絵画・村絵図などの図像資料を展示します。

#### （3）浮世絵・かわら版のなかのまつど

現在の松戸市域の村や町、小金牧などの情報を伝えた木版印刷や浮世絵版画を展示します。

#### （4）アレもコレも歴史の証人

木像、建築模型など、立体の資料を展示します。

### 4 開催期間

平成29年4月24日（火）から6月24日（日）

9時30分～17時（入館は16時30分まで）

月曜日休館（祝日の場合は開館し、翌日休館）

5 主 催 松戸市立博物館

6 会 場 松戸市立博物館 企画展示室



7 観覧料 無料

8 関連事業

(1) 学芸員講演会

日時：5月27日（日）13時から15時

講演名：「まつどの江戸時代 歴史資料のいろいろ」

講師：富澤 達三（当館学芸員）

(2) 講演会「歴史を語る」

日時：6月3日（日）13時から15時

講演名：「近世・松戸<sup>まっどがし</sup>河岸と江戸一人と物の交流—」

講師：和泉 清司氏（高崎経済大学名誉教授）

(3) 関連映像の上映 「(仮) 拓本をとる」

(4) 学芸員による展示解説会

4月29日（日）、5月5日（土・祝）、5月26日（土）、6月9日（土）

各日14時 企画展示室入口集合

9 後援 公益財団法人 松戸市文化振興財団

10 協力 新京成電鉄株式会社、北総鉄道株式会社、流鉄株式会社

11 その他

(1) 同時開催「第4回松戸市展選抜展」平成30年4月24日（火）～5月27日（日）（市展の運営に関わる松戸市美術会所属作家による作品展示）

(2) 4月29日（開館記念日）、5月3日（こども祭り開催日）、5月18日（国際博物館の日）には、常設展示室を無料開放

(3) 4月29日（開館記念日）、5月18日（国際博物館の日）には、先着100名様に記念品を贈呈。

12 添付資料

(1) 主な展示資料の写真と解説

(2) 展示資料リスト

(3) 展覧会案内ちらし

【問い合わせ先】

生涯学習部 博物館 ☎047-384-8181



## 主な展示資料

### 1. 下総国葛飾郡風早庄馬橋村田畑名寄帳

江戸幕府や大名たちは年貢徴収のため、字ごとに田畑や屋敷の面積・土地の品位（上・中・下）・耕作者の情報を調べ、一行（一筆）で書き上げた検地帳を作成し、村の生産力を明らかにしました。

検地帳を耕作者ごとに集計したのが名寄帳です。耕作者の屋敷地・田畑を合算した土地所有高を基準として、各村人に割り振られる年貢料が決まりました。

### 2. 御鹿狩小屋掛人足札

御鹿狩の際、周辺の農村からは農民が動員されて、さまざまな準備にあたりました。これは小屋を建てる人足たちが使った木札です。表に「人足一人」、裏には「御小屋掛（印）」と書かれ、小屋掛け人足たちの通行証として使われたようです。24枚が残っています。

### 3. 幸谷村絵図

幸谷村の村役人を務めた旧家に伝わった絵図です。村の鎮守・寺などの宗教施設、道路、耕地、屋敷、ため池などが描かれています。「天王坂」近くに描かれた天王（牛頭天王）は、江戸時代に恐れられた伝染病である天然痘が村に入るのを防ぐために勧請されたもので、現在は福昌寺にあります。本図には村内の橋の位置も詳細に記され、「土橋」「石橋」と、素材の情報も書き込まれています。

### 4. 下総小金乃原御狩之図

徳川将軍家は小金原で、享保10年（1725）と11年（1726）に八代吉宗、寛政7年（1795）に十一代家斉、嘉永2年（1849）に十二代家慶と、合計4回の大規模な御鹿狩を行いました。

この図は寛政7年の御鹿狩を描いています。この時参加した旗本は15,000人余、周辺農村381か村から動員された勢子は72,000人を超えました。将軍以下は江戸を出立し、江戸川に架けられた船橋を渡って小金牧に至り、狩りを行いました。この日の獲物は鹿130、猪6、狸1でした。

この図は10mを超える長大な作品ですが、当館の13mケースを使って全図を初めて展示します。



## 5. 千代田<sup>ちよだ</sup>之表<sup>のおもて</sup> 松戸宿<sup>まつどしゆく</sup>船橋<sup>ふなばし</sup>

明治期の浮世絵師で、武士の出身であった楊洲<sup>ようしゅう</sup>周延<sup>ちかのぶ</sup>による、旧幕府時代の武家風俗を描いたシリーズの一作です。小金原での御鹿狩<sup>ごしかう</sup>に向かう将軍<sup>いっこう</sup>一行が、金町松戸間に架けられた船橋を渡る様子を描いています。船橋は将軍の日光社参の際などにも架けられています。船橋は何艘もの船を横に連結し、材木やむしろを敷いた上に砂を撒き、欄干<sup>らんかん</sup>をつけたものです。船橋の近くには将軍の御座船<sup>ござぶね</sup>・麒麟丸<sup>きりんまる</sup>が停泊しています。

## 6. 松戸宿<sup>まつどしゆく</sup>本陣<sup>ほんじん</sup>模型<sup>もけい</sup>

松戸宿にあった大名専用の宿泊施設<sup>ほんじん</sup>・本陣の復元模型です。松戸宿の本陣は慶応3年(1867)2月の大火<sup>たいか</sup>で焼失したのちに再建されましたが、平成16年(2004)に解体されました。この模型は本陣を勤めた伊藤家に伝わる絵図を元に、1/20スケールで再現しています。



1. 下総国葛飾郡風早庄馬橋村田畑名



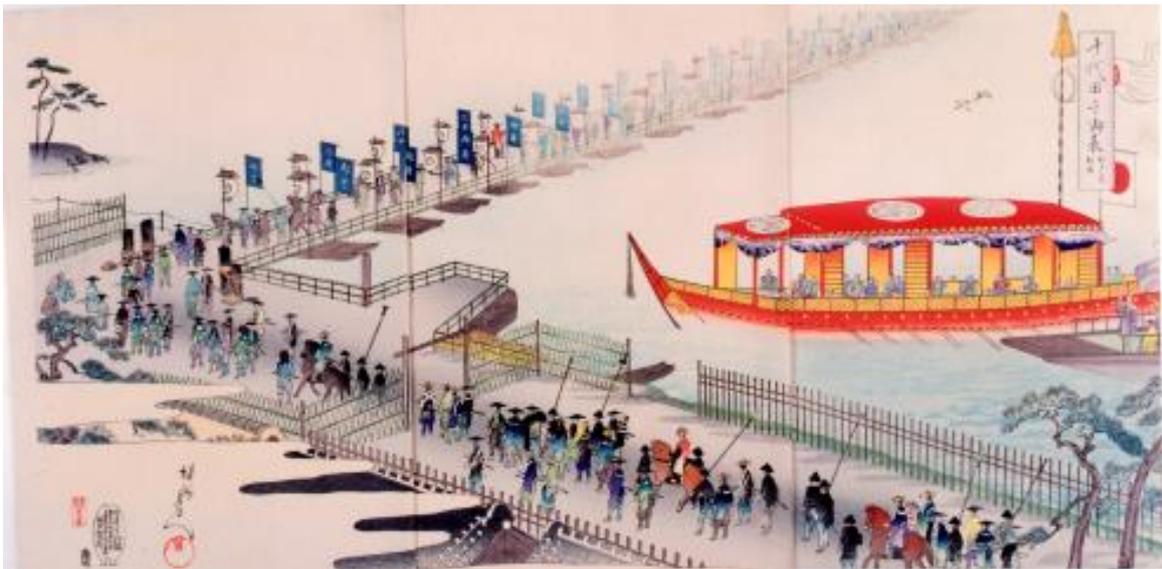
2. 御鹿狩小屋掛人足札



3. 幸谷村絵図



4. 下総小金乃原御狩之図

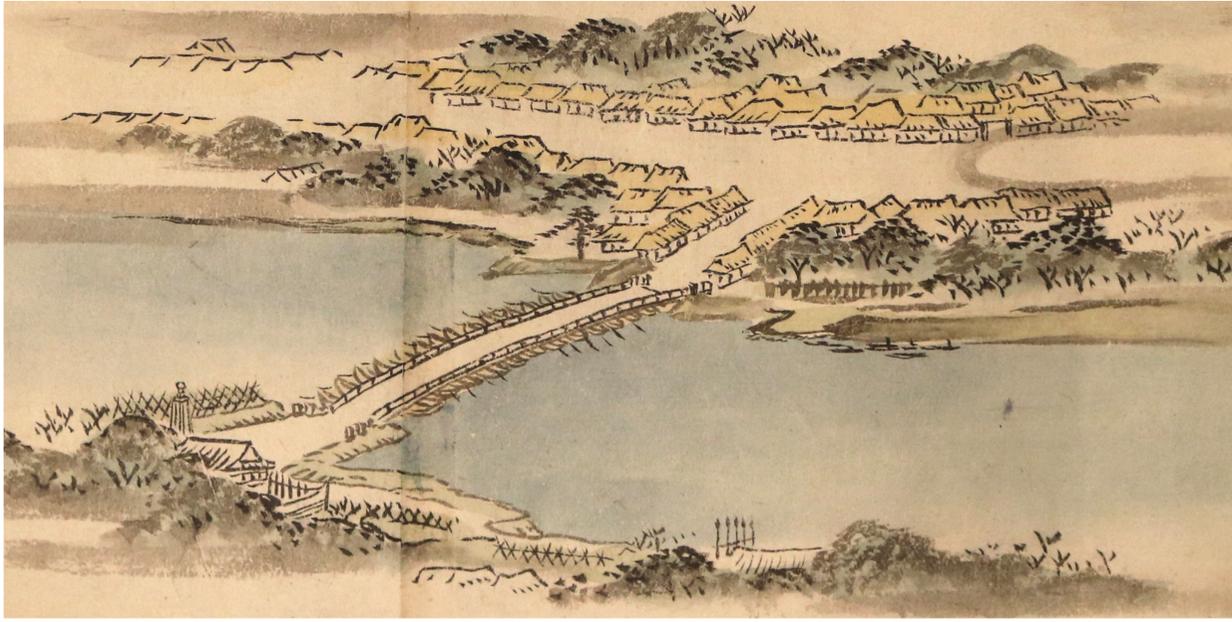


5. 千代田之表 松戸宿船橋



6. 松戸宿本陣模型

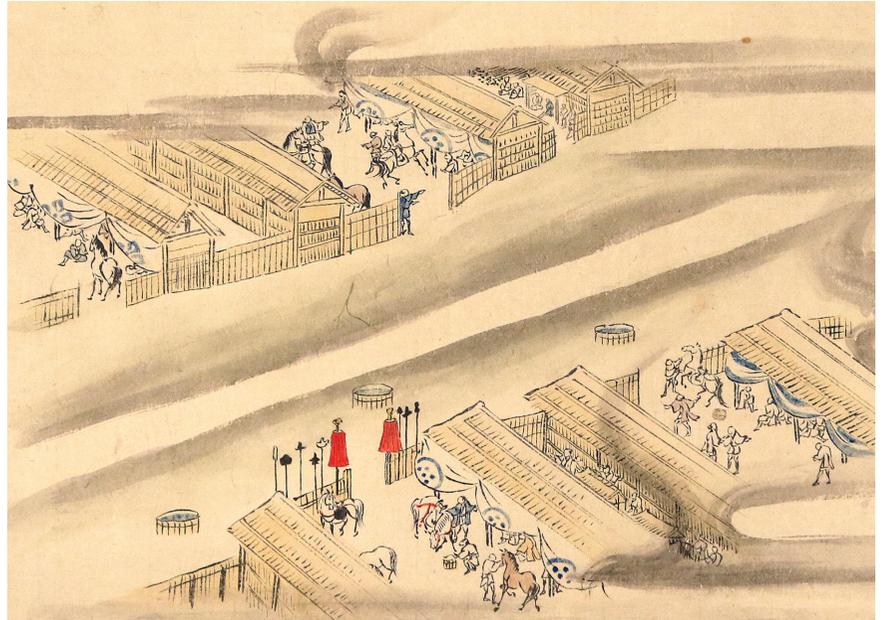
参考図「下総小金乃原御狩之図」拡大



①金町・松戸間の江戸川に架けられた船橋を渡り、将軍以下の旗本たちが御鹿狩の場を目指します。



②馬に乗った旗本たちが、小金牧をめざします。



③金ヶ作村に作られた「小屋場」。幕府で武事をつかさどる番方（ばんかた）の役人・馬が、狩りの開始まで待機しました。



④のろしがあげられ、馬に乗った旗本たちが狩りを開始します。



⑤中央の御立場（おたつば）は、松飛台飛行場からの離着陸の妨げとなるため、戦時中に撤去されてしまいました。

「まつどの江戸時代 - 古文書・絵図・模型からさぐる -」展示資料リスト

No	コーナー	展示物名	和暦	西暦	大きさ
1	1、古文書を「みる」	相渡申役請負家守証文之事	享保19年	(1734)	300×360
2	1、古文書を「みる」	下総国葛飾郡風早庄馬橋村田畑名寄帳	元禄7年	(1694)	305×220×80cm
3	1、古文書を「みる」	総州小金ヶ原御鹿狩御役附・諸国大地震大津波次第並絵図(写本)	江戸時代		267×183
4	1、古文書を「みる」	中野牧野付村々内払廻状写	享保11年	(1726)	282×198
5	1、古文書を「みる」	請取申御払馬之事	寛政12年	(1800)	277×1280
6	1、古文書を「みる」	入置申一札之事	文政7年	(1824)	280×345
7	1、古文書を「みる」	[御書付]	文政9年	(1826)	本紙:168×475 包紙:250×340
8	1、古文書を「みる」	餌鳥札	文政11年	(1828)	餌鳥札:85×115 包紙:125×88
9	1、古文書を「みる」	覚(餌鳥札に付御書付写)	文政10年カ	(1827カ)	123×345
10	1、古文書を「みる」	[冥加金三十両上納名字帯刀御免状]目録(上下一具)	弘化3年	(1846)	本紙:335×86 包紙:315×405
11	1、古文書を「みる」	壬申水戸道中記	江戸時代		140×203
12	1、古文書を「みる」	通行手形	江戸時代		160×340
13	2、絵図のなかのまつど	小金牧絵図(複製)	江戸時代		軸:1870×1036(絵:1200×817)
14	2、絵図のなかのまつど	御鹿狩小金原御場所図	嘉永2年	(1849)	360×495
15	2、絵図のなかのまつど	[二郷半領大水入図]	弘化3年	(1846)	250×355
16	2、絵図のなかのまつど	幸谷村絵図(彩色)	江戸時代		軸:1350×1440、絵885×1215
17	2、絵図のなかのまつど	幸谷村絵図(彩色)	江戸時代		325×480
18	2、絵図のなかのまつど	幸谷村絵図	江戸時代		335×480
19	2、絵図のなかのまつど	下総小金乃原御狩之図	寛政7年カ	(1795カ)	295×11850(2018測定295×11835)
20	2、絵図のなかのまつど	野馬焼印之図並考	安政6年	(1856)	130×200
21	3、浮世絵・かわら版のなかのまつど	[江戸周辺図]	弘化元年	(1845)	695×915
22	3、浮世絵・かわら版のなかのまつど	下総国輿地全図	嘉永2年	(1849)	1010×1110
23	3、浮世絵・かわら版のなかのまつど	江戸名所図会	天保7年	(1836)	
24	3、浮世絵・かわら版のなかのまつど	昔風俗年中雙六	明治29年	(1896)	タイトル込:870×745 タイトル抜:735×745
25	3、浮世絵・かわら版のなかのまつど	「春秋」巻十五 十七丁・十八丁版木2枚	江戸時代		236×352
26	3、浮世絵・かわら版のなかのまつど	諸土方・高名手柄 小金山麓之地理	嘉永2年	(1849)	183×120
27	3、浮世絵・かわら版のなかのまつど	[かわら版 御鹿狩]	嘉永2年	(1849)	232×313
28	3、浮世絵・かわら版のなかのまつど	関東市町定日案内	江戸時代		460×340
29	3、浮世絵・かわら版のなかのまつど	[和讃板木]	江戸時代		130×3705×20
30	3、浮世絵・かわら版のなかのまつど	千代田之表 松戸宿船橋	明治30年	(1897)	425×850(マット)
31	3、浮世絵・かわら版のなかのまつど	富士三十六景 下総小金原	安政5年	(1858)	37.4×25.6 543×423(マット)
32	3、浮世絵・かわら版のなかのまつど	松戸宿図絵(船橋かわら版)	嘉永2年	(1849)	315×410
33	3、浮世絵・かわら版のなかのまつど	新判なぞなぞづくし			390×280
34	4、アレもコレも歴史の証人	木造不動明王坐像	江戸時代		300×400×h750
35	4、アレもコレも歴史の証人	木造金先禅師坐像	江戸時代		330×500×h500
36	4、アレもコレも歴史の証人	松戸宿本陣模型	平成19年	(2008)	1820×1230×450
37	4、アレもコレも歴史の証人	鳶口	江戸時代		鎌部分の縦50 柄1820
38	4、アレもコレも歴史の証人	かえる股	江戸時代		310×1050×140
39	4、アレもコレも歴史の証人	[御鹿狩小屋掛人足札]	江戸時代		90×68
40	4、アレもコレも歴史の証人	芭蕉句碑	文政8年	(1825)	軸:1255×868 画:705×668
41	4、アレもコレも歴史の証人	[槍先]	江戸時代		長さ150 反り0 全長44 幅2,3(刃の幅)
41	4、アレもコレも歴史の証人	ビデオ上映 拓本をとる	江戸時代		
42	4、アレもコレも歴史の証人	袖がらみ	江戸時代		2980mm

市制施行75周年・開館25周年記念館蔵資料展

# 江戸

# 松

# 戸

# まつどの 江戸時代

古文書・絵画・模型からさぐる



# 時

# 代

2018 4.24(火) → 6.24(日)

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日(ただし4月30日(月・祝)は開館し、翌日休館)

後援：(公財)松戸市文化振興財団 協力：新京成電鉄株式会社、北総鉄道株式会社、流鉄株式会社

◆同時開催「第4回松戸市展選抜展」4月24日[火]—5月27日[日]


**松戸市立博物館**  
 MATSUDO MUSEUM

# まつどの

# 江戸時代

## 古文書・絵画・

## 模型からさぐる



江戸時代、いまの松戸市域には50を超える

村や町があり、膨大な歴史資料が

残されました。旧家で守られてきた古文書、

御鹿狩の絵画、村の道や耕地を描いた絵図、

浮世絵版画やかわら版などの印刷物、

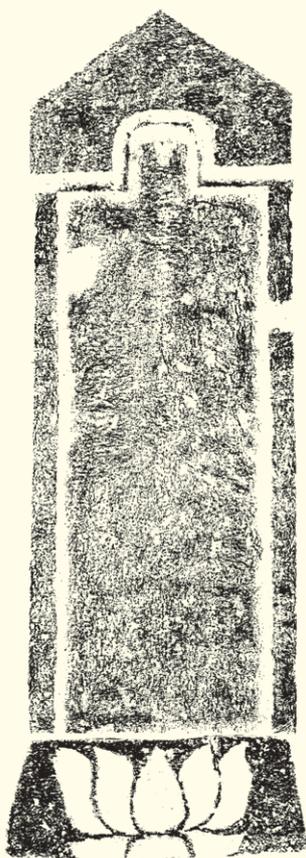
資料を元に再現された模型、拓本

などを展示し、まつどの江戸時代を探ります。

## 展示構成

- 1 古文書を「みる」
- 2 絵図のなかのまつど
- 3 浮世絵・かわら版のなかのまつど
- 4 アレもコレも歴史の証人

左上：福昌寺庚申塔拓本(複写)  
 右上：歌川広重「富士三十六景 下総小金原」  
 左下：「江戸周辺図」松戸付近  
 右下：楊洲周延「千代田の御表 松戸宿船橋」



## 講演会など

**学芸員講演会「まつどの江戸時代 歴史資料のいろいろ」** \*無料  
 講師 / 富澤達三(当館学芸員) 日時 / 5月27日(日)13:00~15:00 定員 / 80名

**歴史を語る「近世・松戸河岸と江戸一人と物の交流」** \*無料  
 講師 / 和泉清司氏(高崎経済大学名誉教授) 日時 / 6月3日(日)13:00~15:00 定員 / 80名

**担当学芸員による展示解説会**  
 日時 / 4月29日(日・祝)、5月5日(土・祝)、5月26日(土)、6月9日(土)  
 各日14:00企画展示室入口集合(所要時間約30分) \*無料



**交通案内** ●新京成線「八柱駅」・JR武蔵野線「新八柱駅」下車、徒歩15分。または松戸新京成バス小金原団地循環・新松戸駅行「公園中央口」下車すぐ。●JR常磐線・武蔵野線「新松戸駅」下車、松戸新京成バス八柱駅行「公園中央口」下車。地下道通ってすぐ。●来館者専用の駐車場はございません。お車でお越しの方は、21世紀の森と広場の有料駐車場をご利用ください。(障害者専用駐車場有り。詳しくはお問い合わせください)

## 同時開催

松戸美術会・松戸市教育委員会共催  
**第4回松戸市展選抜展**  
 4月24日[火]—5月27日[日] ●無料

松戸市展の運営に関わっている松戸美術会の作家による選抜展です。

## 松戸市立博物館

〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀671

TEL 047-384-8181

<http://www.city.matsudo.chiba.jp/m.muse/>